

消防団危険予知訓練（S - KYT）研修

- 1 目的 消防活動の現場には、目に見える危険だけでなく、多種多様の危険が潜んでいます。その、公務災害を防止するために消防団員一人一人の災害現場に潜む危険に対する感受性を鋭くし、現場で適切な対応が出来るようにするための研修である。
- 2 日時 平成19年7月29日（日）
午前8時30分から午後12時30分
- 3 場所 奈良市八条五丁目404番地の1
財団法人 奈良市防災センター2階研修室
- 4 参加者 消防団員37名（階級は部長・班長を対象）
- 5 内容 この訓練は、産業界で広く実施され、労働災害防止に近年大きな成果を上げている危険予知訓練をベースにして、消防団向けに開発された訓練である。
消防団員の小人数（5～6人）のチームで活動の一場面を描いたイラスト・シートを使い、15から20分という短時間で4つのラウンドをチームで話し合い、考え合い、分かり合っって危険予知の真髓が短時間で習得するものである。
- 6 講師 (1) 関根 弘 氏（元東京消防庁職員）
消防団員等公務災害補償等共済基金S - KYT 指導員
(2) 谷 亜生 氏（元京都市消防局職員）
消防団員等公務災害補償等共済基金S - KYT 指導員候補者
- 7 問い合わせ 奈良市消防局総務課庶務係
0742 - 35 - 1199（内線：213）